



2024年3月期 決算短信〔IFRS〕(連結)

2024年5月15日

上場会社名 株式会社ハルメクホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 7119 URL <http://halmek-holdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮澤 孝夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 石井 文範 (TEL) 03(6272)8222
 定時株主総会開催予定日 2024年6月27日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月27日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		当期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	31,415	9.3	857	△57.7	681	△63.4	476	△61.9	476	△61.9	476	△61.9
2023年3月期	28,738	13.9	2,030	49.5	1,864	59.0	1,248	56.8	1,248	56.8	1,248	56.8

	基本的1株当たり 当期利益	希薄化後 1株当たり当期利益	親会社所有者帰属持分 当期利益率	資産合計 税引前利益率	売上収益 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	44.00	42.63	6.8	3.2	2.7
2023年3月期	155.05	147.16	30.1	9.0	7.1

(参考) 持分法による投資損益 2024年3月期 一百万円 2023年3月期 一百万円

(注) 当社は2022年8月3日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行いました。2023年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益を算出しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	20,114	7,555	7,555	37.6	692.89
2023年3月期	23,097	6,482	6,482	28.1	633.81

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	152	△414	△3,836	938
2023年3月期	2,260	△464	2,275	5,036

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社所有者 帰属持分配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,500	8.2	400	△48.5	375	△39.8	250	△39.5	250	△39.5	23.10
通期	34,000	8.2	1,000	16.6	950	39.4	600	26.0	600	26.0	55.44

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 —社（社名）— 、除外 —社（社名）—

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	10,895,850株	2023年3月期	10,222,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期	—株	2023年3月期	—株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	10,822,194株	2023年3月期	8,054,789株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	2,029	15.0	△26	26.6	6	110.1	△0	△251.5
2023年3月期	1,764	87.9	△36	200.0	△59	△107.3	0	△100.0
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年3月期	△0.06		△0.06					
2023年3月期	0.05		0.05					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2024年3月期	7,765		5,461		70.2		500.65	
2023年3月期	11,116		4,847		43.6		474.20	

(参考) 自己資本 2024年3月期 5,454百万円 2023年3月期 4,843百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関連する事項については添付資料の4ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結財政状態計算書	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結持分変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

文中の将来に関する事項は、当連結会計年度の末日現在において判断したものであります。

当連結会計年度（2023年4月1日から2024年3月31日まで）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い行動制限が緩和されたことや賃上げなどの実施により、国内景気は緩やかなペースで回復傾向に進んでいる一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化等に加え、世界的なインフレに伴う金融引き締め、円安基調の継続、原材料・エネルギー価格の高止まり等から、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、雑誌「ハルメク」で多くの新規読者を獲得できました。前年同期において、ハルメク編集長のテレビ出演が続いた効果と、新規読者の獲得が多い「強い特集」を秋口までに集中していたことにより、年度の前半より非常に大きく読者数が伸びていたことから、当期においては読者数の前年同期比減が続いておりました。しかしながら、「強い特集」を掲載した2024年3月号において多くの新規読者を獲得できた結果、2024年3月末時点で読者数は48万人（前年同期：46万人）と前年同期を上回って着地しております。

物販におきましては、「ものは少なく、暮らしは豊かに♪」という通販コアバリューを新たに定め、「ハルメク通販5つのお約束」に沿った商品をお客様にお届けしていることや、「ことせ」ブランドにおいても販促を強化しつつ、魅力的なアパレル商品でお客様の新規獲得を進めた結果、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行した後におきましても、売上を伸ばし続けております。

「通販コアバリュー（ハルメク通販5つのお約束）」ものは少なく、暮らしは豊かに♪

- ① たくさんの商品から選んで頂くのではなく、「最もいいものだけ」をご提案します。
- ② 50代からの女性が「これがほしかった」と思える唯一無二のものを作ります。
- ③ 「安心して長く使える」ように、ハルメク基準で厳しく品質管理します。
- ④ 売ったら終わりではなく、皆さまのお声で改良。「ずっとご愛用いただける」ように。
- ⑤ 「もったいない」の気持ちを大切に、使わなくなったものは社会と環境のために役立てます。

上記通販コアバリューに基づき生み出した商品は、雑誌「ハルメク」読者への販売のほか、新聞広告や自社ECサイトを通じて読者以外のお客様への販売を増やすことにも成功しております。また、新型コロナウイルス感染症の影響の軽減により店舗へのご来店客も大きく増加しております。新型コロナウイルス感染症に関わる行動制限の解除を受け再開したリアルイベントも順調に集客が進み、直接お客様にハルメクの世界観を体験頂ける機会が増加してきたことだけでなく、コロナ禍の行動制限下において培った充実したオンラインイベント、リアルイベントとオンラインイベントを組み合わせたハイブリッド型のイベントなども実施し、オンラインにおいては首都圏だけでなく、日本全国からご参加頂いております。

さらに前連結会計年度にリリースした、「観る・聴く・学ぶ・つながる」をテーマに、24時間・365日いつでもどこでも楽しめる月額定額制のサービスである「ハルメク365」においては、これまで雑誌で提供させていただいておりました「読んで役立つ」コンテンツに加え、ファッション・美容・料理レシピ・脳トレ・エクササイズなど、毎日が楽しくなる動画を大幅に追加しております。そのほか、雑誌「ハルメク」の人気講師陣によるリアル&オンライン講座も毎月開催するなど、文字通り365日飽きることなく楽しめるコンテンツ作りに取り組んでおります。

一方、新型コロナウイルス感染症の影響の軽減による当社ビジネスへのマイナス影響として、特に秋以降、当社顧客であるシニア女性の行動変容が顕著になってきております。例えば、以前であれば「家の中で使われる商品」をお買い上げいただくことが多かったのに対し、秋以降は「外出時に着ていく洋服」や「外出用のメイク商品」といったものへ需要がシフトしております。これらの影響と、暖冬により冬物商品の販売が不振だったことなどから、カタログ配布数に対する売上獲得率が低下し、収益性が悪化しました。その後、カタログ掲載商品の見直しなどを進めておりますが、1年で一番売上・利益が大きい第3四半期連結会計期間の収益性が上記理由から悪化しております。

その他、デジタル化と事業拡大に対応するため、システム戦略を見直した結果、使用見込みが無くなるソフトウェアを除却し、570百万円の損失を計上しております。また、5月には、新規上場で得た資金により借入金の返済を行いました。この返済により、一時的な金融費用が130百万円発生しておりますが、この返済の結果、今後発生する

金融費用は従前比で大きく改善し、2023年6月以降におきましては、金融費用が年換算で1億円以上改善する見込みであります。

以上の結果、当連結会計年度の売上収益は、31,415百万円（前年同期比2,677百万円増、9.3%増）、営業利益は、857百万円（前年同期比1,172百万円減、57.7%減）、税引前利益は、681百万円（前年同期比1,182百万円減、63.4%減）、親会社の所有者に帰属する当期利益は、476百万円（前年同期比772百万円減、61.9%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、セグメント別の売上収益及びセグメント利益又は損失は社内の迅速な意思決定に資するため、会計処理の一部について、IFRSと異なる処理を採用しております。

<ハルメク事業>

当連結会計年度においては、深い顧客理解に基づく読者に寄り添った誌面作りにより、雑誌「ハルメク」において、引き続き過去最高水準での読者数を維持したこと、通販コアバリューに沿った、ライフスタイル提案としての商品販売が、通信販売だけでなく、店舗販売においても順調に推移したこと、個別商品の新聞広告により読者以外の顧客獲得も大きく伸ばしたことなどから、売上を堅調に伸ばすことができました。ただ、秋以降の当社顧客層における行動変容への対応が遅れたことと、前年同期においてはハルメク編集長のTV出演に伴う読者数押し上げ効果があったことから、広告効率が悪化し、セグメント利益は前年同期比で減少しております。

以上の結果、売上収益は24,029百万円（前年同期比1,972百万円増、8.9%増）、セグメント利益は1,116百万円（前年同期比331百万円減、22.9%減）となりました。

<全国通販事業>

当連結会計年度においては、アパレルを中心に魅力的なオリジナル商品を増やしたこと、積極的な新聞広告投資を行ったことにより、新規顧客獲得が順調に進み、売上を大きく伸ばすことができました。一方、顧客数および売上の増加を企図した積極的な広告投資のコスト増により、セグメント利益は前年同期比で減少しております。

以上の結果、売上収益は7,721百万円（前年同期比714百万円増、10.2%増）、セグメント利益は30百万円（前年同期比56百万円減、64.7%減）となりました。

（2）当期の財政状態の概況

① 資産、負債及び資本の状況

（資産）

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ2,982百万円減少し20,114百万円となりました。

流動資産は3,051百万円減少し、6,229百万円となりました。主な要因は、借入金の返済等による現金及び現金同等物の減少4,098百万円、営業債権の増加333百万円、棚卸資産の増加722百万円であります。

非流動資産は69百万円増加し、13,885百万円となりました。主な要因は有形固定資産の増加102百万円、使用権資産の増加656百万円、無形資産の減少649百万円であります。

（負債）

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ4,054百万円減少し12,559百万円となりました。

流動負債は1,448百万円減少し、8,784百万円となりました。主な要因は、借入金の減少1,002百万円等でありませ。

非流動負債は2,606百万円減少し、3,774百万円となりました。主な要因は、借入金の減少2,866百万円等でありませ。

（資本）

当連結会計年度末における資本合計は、前連結会計年度末と比べ1,072百万円増加し7,555百万円となりました。主な要因は、有償第三者割当増資（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）による新株式の発行等により資本金が306百万円、資本剰余金が288百万円増加したこと、及び親会社の所有者に帰属する当期利益476百万円の計上によるものであります。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ4,098百万円減少し、938百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は152百万円（前年同期は2,260百万円の獲得）となりました。主な増加要因は、税引前利益681百万円（前年同期比1,182百万円減）、減価償却費及び償却費915百万円（前年同期は673百万円）、有形固定資産及び無形資産除却損580百万円（前年同期の収入はありません）等であり、主な減少要因は営業債権の増加額340百万円（前年同期は141百万円）、棚卸資産の増加額722百万円（前年同期は499百万円）、法人所得税の支払額937百万円（前年同期は572百万円）等であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は414百万円（前年同期は464百万円の使用）となりました。主な内訳は、基幹システムの更新等に伴う無形資産の取得による支出278百万円（前年同期は376百万円）、有形固定資産の取得による支出104百万円（前年同期は32百万円）等であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は3,836百万円（前年同期は2,275百万円の獲得）となりました。支出の内訳は、長期借入金の返済による支出5,892百万円（前年同期は402百万円）、リース負債の返済による支出457百万円（前年同期は408百万円）であり、収入の内訳は、短期借入れによる収入1,900百万円（前年同期は400百万円）、株式の発行による収入612百万円（前年同期は3,516百万円）であります。

（4）今後の見通し

（％表示は、対前期増減率）

売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
34,000	8.2	1,000	16.6	950	39.4	600	26.0	55.44

① 売上収益予想の背景・変動要因

次期の連結売上収益は、当連結会計年度比8.2%増の34,000百万円を予想しております。新型コロナウイルス感染症影響の軽減による当社ビジネスへのマイナス影響として、特に2023年秋以降、当社顧客であるシニア女性の行動変容が顕著になってきており、カタログ配布数に対する売上獲得率が低下しました。また、2017年以降、大きく読者数を伸ばし続け、雑誌販売部数No.1（出所：一般社団法人日本ABC協会「発行社レポート」2023年上期実績）となっている雑誌「ハルメク」の読者数も、伸長ペースは落ちてきています。これらの課題を受け、デジタルコンテンツを提供する「ハルメク365」の立ち上げを急ぐほか、カタログ誌面表現の見直しや新商品開発力の強化などの対策を講じており、一部において効果は出てきておりますが、現時点においては大きな改善には至っておりません。今後も対策は継続し、状況改善を図ってまいります。業績予想としては「現在の状況が1年間改善しなかった場合」における売上収益の予想をお示ししております。

② 利益予想の背景・変動要因

当連結会計年度においては、新規上場に伴う知名度・信用力の向上を生かした人材投資を積極的に行い、48名の正社員を採用することに成功しました。この新規採用により売上増加及び新規事業拡大に対応する社内体制・人材の強化を進めたほか、既存社員の待遇改善を進めました。結果、次期においては、労務費・人件費の増加を見込んでおります。また、用紙印刷代や商品仕入れ価格の高騰により、売上原価、販売費及び一般管理費の増加を見込んでおります。一方、当連結会計年度においてはシステム除却損が発生してはいたしましたが、次期においてはそのような見込みはありませんので、営業利益は当連結会計年度比16.6%増の1,000百万円、税引前利益は当連結会計年度比

39.4%増の950百万円、親会社の所有者に帰属する当期利益は当連結会計年度比26.0%増の600百万円と見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性及び利便性の向上を図るため、2022年3月期より、国際会計基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
	百万円	百万円
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	5,036	938
営業債権	1,545	1,879
棚卸資産	2,295	3,017
未収法人所得税	0	17
その他の流動資産	402	376
流動資産合計	9,280	6,229
非流動資産		
有形固定資産	222	325
使用権資産	2,332	2,988
のれん	4,452	4,452
無形資産	6,291	5,641
繰延税金資産	146	119
その他の金融資産	279	308
その他の非流動資産	92	50
非流動資産合計	13,816	13,885
資産合計	23,097	20,114

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
	百万円	百万円
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	2,902	1,900
営業債務及びその他の債務	3,190	3,173
契約負債	2,313	2,512
リース負債	326	557
未払法人所得税	563	18
その他の流動負債	936	622
流動負債合計	10,232	8,784
非流動負債		
借入金	2,866	—
リース負債	2,030	2,487
引当金	91	101
繰延税金負債	1,392	1,185
その他の金融負債	0	0
非流動負債合計	6,381	3,774
負債合計	16,614	12,559
資本		
資本金	1,768	2,074
資本剰余金	2,013	2,301
その他の資本の構成要素	4	6
利益剰余金	2,697	3,173
親会社の所有者に帰属する持分合計	6,482	7,555
資本合計	6,482	7,555
負債及び資本合計	23,097	20,114

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
	百万円	百万円
売上収益	28,738	31,415
売上原価	12,600	13,660
売上総利益	16,138	17,755
販売費及び一般管理費	14,096	16,328
その他の収益	18	36
その他の費用	28	606
営業利益	2,030	857
金融収益	0	0
金融費用	166	176
税引前利益	1,864	681
法人所得税費用	615	205
当期利益	1,248	476
当期利益の帰属		
親会社の所有者	1,248	476
当期利益	1,248	476
1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益(円)	155.05	44.00
希薄化後1株当たり当期利益(円)	147.16	42.63

連結包括利益計算書

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
	百万円	百万円
当期利益	1,248	476
当期包括利益	1,248	476
当期包括利益合計の帰属		
親会社の所有者	1,248	476
当期包括利益	1,248	476

(3) 連結持分変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						合計
	資本金	資本 剰余金	その他の資本の構成要素		利益 剰余金	合計	
			新株予約権	合計			
2022年4月1日時点の残高	10	364	0	0	1,448	1,823	1,823
当期利益	—	—	—	—	1,248	1,248	1,248
当期包括利益合計	—	—	—	—	1,248	1,248	1,248
株式に基づく報酬取引	—	—	3	3	—	3	3
新株の発行	1,758	1,649	—	—	—	3,407	3,407
その他変動額	—	△0	—	—	0	—	—
所有者との取引額等合計	1,758	1,648	3	3	0	3,410	3,410
2023年3月31日時点の残高	1,768	2,013	4	4	2,697	6,482	6,482

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						合計
	資本金	資本 剰余金	その他の資本の構成要素		利益 剰余金	合計	
			新株予約権	合計			
2023年4月1日時点の残高	1,768	2,013	4	4	2,697	6,482	6,482
当期利益	—	—	—	—	476	476	476
当期包括利益合計	—	—	—	—	476	476	476
株式に基づく報酬取引	—	—	2	2	—	2	2
新株予約権の行使	15	15	△0	△0	—	30	30
新株の発行	290	272	—	—	—	563	563
所有者との取引額等合計	306	288	2	2	—	596	596
2024年3月31日時点の残高	2,074	2,301	6	6	3,173	7,555	7,555

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益	1,864	681
減価償却費及び償却費	673	915
有形固定資産及び無形資産除却損	—	580
金融費用	166	176
営業債権の増減額 (△は増加)	△141	△340
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△499	△722
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	363	△80
契約負債の増減額 (△は減少)	102	198
未払賞与の増減額 (△は減少)	185	△188
その他	71	△108
小計	2,786	1,111
利息及び配当金の受取額	0	0
利息及び優先配当金の支払額	△146	△21
法人所得税の還付額	193	0
法人所得税の支払額	△572	△937
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,260	152
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△32	△104
無形資産の取得による支出	△376	△278
その他	△55	△31
投資活動によるキャッシュ・フロー	△464	△414
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	400	1,900
短期借入金の返済による支出	△830	—
長期借入れによる収入	1,000	—
長期借入金の返済による支出	△402	△5,892
株式の発行による収入	3,516	612
償還条項付優先株式の償還による支出	△1,000	—
リース負債の返済による支出	△408	△457
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,275	△3,836
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,071	△4,098
現金及び現金同等物の期首残高	964	5,036
現金及び現金同等物の期末残高	5,036	938

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

（1）報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは「ハルメク事業」及び「全国通販事業」の2つの事業を事業セグメント及び報告セグメントとしております。当社グループでは、これらの報告セグメントに属するサービスの全て又はその一部を行う単位で株式会社として組織化しており、各セグメントに属する組織の財務情報を集計することによって、各報告セグメントを評価しております。

各報告セグメントに属するサービスは下記のとおりであります。

報告セグメント	主要な製品及びサービス
ハルメク事業	シニア女性向け雑誌「ハルメク」の出版・通信販売事業「ハルメク」・広告事業・イベント等の文化事業・新聞単品外販・店舗等
全国通販事業	シニア女性向け通信販売事業「ことせ」・広告事業等

（2）報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額の算定方法

報告セグメントの売上収益、利益又は損失の金額の算定方法について、連結財務諸表との主な調整の内容は以下のとおりです。なお、セグメント情報は、社内の迅速な意思決定に資するため、会計処理の一部について、IFRSと異なる処理を採用しております。

また、セグメント間収益は、市場価格を勘案し、価格交渉の上決定した取引価格に基づいております。

① 代理人取引の相殺消去

当社グループは、広告事業の一部として、法人顧客へ、広告取扱業者への取次を含めたコンサルティングサービスを提供しております。履行義務に代理人として関与する行為が含まれている場合には、その取扱金額は収益より控除されますが、セグメント収益の算定上、総額で記載しております。

② 収益認識時点の修正

当社グループは、通信販売事業を行っております。IFRSでは履行義務を充足した時点、すなわち、顧客に商品を引渡した時点で収益として認識されますが、セグメント収益の算定上、商品の出荷時点で収益として認識しております。

③ のれんの償却

IFRSでは、認識したのれんについて償却を行わず、年に一度又は減損の兆候が存在する場合にはその都度、減損テストを行うことを要求しておりますが、セグメント利益の算定にあたっては連結子会社が会社法上認識しているのれんについて、20年で償却した費用を計上しております。

④ 無形資産の償却

当社は企業結合により、無形資産として顧客関連資産等を認識しております。当該無形資産について見積耐用年数に従って償却が行われますが、セグメント利益の算定にあたっては償却費を計上しておりません。

⑤ 非金融資産の減損による影響

当社は企業結合の際に、全国通販事業セグメントの使用権資産及び無形資産について減損を行っており、IFRSでは当該減損した使用権資産及び無形資産に関連する減価償却費及び償却費が計上されておりません。セ

グメント利益の算定においては、これらの資産にかかる賃借費用及び償却費を計上しております。

⑥ その他調整額

その他には、上記以外の調整項目が含まれております。

(3) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	連結
	ハルメク事業	全国通販事業	計		
売上収益					
外部収益	22,022	6,866	28,888	△150	28,738
セグメント間収益	33	140	174	△174	—
売上収益合計	22,056	7,007	29,063	△325	28,738
セグメント利益	1,448	87	1,535	505	2,041

連結のセグメント利益は、連結損益計算書上の売上総利益から販売費及び一般管理費を除いた金額であります。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	連結
	ハルメク事業	全国通販事業	計		
売上収益					
外部収益	23,994	7,587	31,581	△165	31,415
セグメント間収益	34	134	169	△169	—
売上収益合計	24,029	7,721	31,751	△335	31,415
セグメント利益	1,116	30	1,147	280	1,427

連結のセグメント利益は、連結損益計算書上の売上総利益から販売費及び一般管理費を除いた金額であります。

(4) 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

① 売上収益

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
報告セグメント計	29,063	31,751
調整額		
セグメント間取引消去	△174	△169
①代理人取引の相殺消去	△90	△101
②収益認識時点の修正	20	10
⑥その他調整額	△80	△74
調整額合計	△325	△335
売上収益	28,738	31,415

② セグメント利益から税引前利益への調整表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）	当連結会計年度 （自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）
報告セグメント計	1,535	1,147
調整額		
②収益認識時点の修正	9	6
③のれんの償却	498	410
④無形資産の償却	△289	△289
⑤非金融資産の減損による影響	141	14
⑥その他調整額	146	138
調整額合計	505	280
合計	2,041	1,427
その他の収益	18	36
その他の費用	28	606
営業利益	2,030	857
金融収益	0	0
金融費用	166	176
税引前利益	1,864	681

（5）製品及びサービスに関する情報

「（3）報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額に関する情報」の中で同様の開示をしているため、記載を省略しております。

（6）地域に関する情報及びセグメントごとの資産の金額に関する情報

当社グループにおける売上収益は全て本邦のものであり、また、当社グループの非流動資産は全て本邦にあることから、地域ごとの情報は省略しております。

（7）主要な顧客に関する情報

単一の外部顧客との取引による売上収益が当社グループの売上収益の10%を超えるものはありません。

（1株当たり情報）

（1）基本的1株当たり当期利益の算定上の基礎

	前連結会計年度 （自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）	当連結会計年度 （自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）
親会社の所有者に帰属する当期利益（百万円）	1,248	476
親会社の普通株主に帰属しない当期利益（百万円）	—	—
基本的1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益（百万円）	1,248	476
加重平均普通株式数（千株）	8,054	10,822
基本的1株当たり当期利益（円）	155.05	44.00

(2) 希薄化後1株当たり当期利益の算定上の基礎

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
基本的1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益 (百万円)	1,248	476
当期利益調整額 (百万円)	—	—
希薄化後1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益 (百万円)	1,248	476
加重平均普通株式数 (千株)	8,054	10,822
普通株式増加数		
新株予約権 (千株)	431	349
希薄化後の加重平均普通株式数 (千株)	8,486	11,171
希薄化後1株当たり当期利益 (円)	147.16	42.63
希薄化効果を有しないため、希薄化後1株当たり当 期利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(注) 1. 当社は2022年8月3日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行いました。2023年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、基本的1株当たり当期利益及び希薄化後1株当たり当期利益を算出しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。